

祝！大野成美さん（第19期生）女性枠で全国大会に初出場！

8月2日(日)全建総連東京都連 第29回青年技能競技大会レポート

カレッジ通信

発行
東京建築
カレッジ

規矩術の技
を未来へ！

青競大会
特集号



2年生の大野成美さん（19歳、大工、II写真）が9月22、23日、長野県松本市で開催される全建総連「第31回全国青年技能競技大会」に出場します。大野さんは8月2日に行われた東京都連「第29回青年技能競技大会」に選手として参加、惜しくも入賞はできませんでしたが、努力が評価され、今回新設された女性枠で全国青競に挑むことになりました。

職業能力開発短期大学
校 東京建築カレッジの
研修生・卒業生が、学び
体得した技術・技能の高
さを試す挑戦目標として
2つの競技大会がありま

す。一つは、厚生労働省
と中央職業能力開発協会
が主催する「技能五輪全
国大会」。もう一つは、
カレッジの母体、東京土
建一般労働組合が加盟す
る全国建設労働組合総連
合（全建総連）主催「全
国青年技能競技大会（全
国青競）」です。

技能五輪の課題が毎年
変わるのに対し、青競の
作品課題は一貫して「四
方転び踏み台」。「規矩
（きく）術※」を核とす
る建築大工の基本技能の
習得が問われる課題で、
原寸図の製作、部材の削
り、墨付け、加工仕上げ、
組み立てまでの一連の作
業の完成度を競います。



小林貴志さん

8月2日、都立多摩職
業能力開発センター府中
校で開催された東京都連
青競には、カレッジ現役
生から1年生1人（小林
貴志さん）、2年生2人
（大野成美さん、藤田悠
希さん）が選手として参
加し、入賞には至らなかつ
たものの大健闘しました。
3人は、通常の授業以
外に「四方転び踏み台・
入門講習会」に自主参加
特訓を重ねてきました。
今回の経験について、
「楽しかった。練習で8
個作りました。でも悔し
い。来年は入賞狙います」
（小林さん）、「ひた
すら緊張。お昼ごはんは
少ししか食べられません
でした。全国大会に出られ
るのはうれしい。応援あ
りがとうございました」
（大野さん）、「もっ
といいものを作らなくて
は！もちろん来年も出ま



藤田悠希さん

2年生指導員責任者
片岡茂樹先生
技能五輪
国際大会に
貢献



2年生の実技指導責任者、片岡茂樹さん（東京土建江戸川支部）は、全建総連の推薦で、8月中旬、ブラジル・サンパウロで開催された「第43回技能五輪国際大会」で日本代表選手、若林信さん（山形県、大沼建築）のエキスパート（指導員）を務めました。写真=7月31日の2年生の授業で、朝顔箱の構造を解説する片岡さん。

す！」（藤田さん）と
話しています。
大野さんは、全国青競
に向けての抱負を次のよ
うに語ってくれました。
「全国から女性が集まる
ので交流が楽しみです。
女性同士のたのしみでは
負けません」。

※規矩術（きくじゅつ）
「さしがねを用いて垂木
（たるき）や隅木（すみ
き）などの建築部材の実
形を幾何学的に割り出し、
材木に墨付けする技術」
（『大辞林』）

シ第11期生・現指導員）、
銀賞&東京都産業労働局
局長賞は、赤井立矢さん
（同、カレッジ第13期生・
現指導員）、銅賞&東京
都職業能力開発協会会長
賞は、菅原将太さん（建
設ユニオン城北支部）、
四位入賞は、柴田輝実さ
ん（東京土建村山大和支
部、カレッジ第11期生）。
この四名は全国青競に東
京代表として出場します。

恐怖のスズメバチ現われず！ ルポ 真夏の林業実習

東京建築カレッジは開校当初から、飯能・秩父の西川材産地と交流してきました。メード・イン・ジャパンの木材の生産・流通の現実を学ぶため、1年生ではプレカット工場、原木市場、木材活用を広げる産地の取り組みを徹底学習する宿泊研修があり、2年生では林業の労働の中でもっとも過酷とされる「下草刈り」を体験します。



羽鳥大樹さん



山中陽子さん

林業実習「森を育てる実習に学ぶ」は例年6月下旬に実施していますが、今年は、ガイドの井上淳治さん（飯能市、木楽里）のご都合で、1ヵ月延期になり、7月25日に行われました。

8時 池袋校舎から近い川越街道からバスで出発、研修生10人、学校長、講師1名、指導員2名、教務2名。7名欠席の事態に「事前学習でスズメバチの危険を強調しすぎたかな」と老田靖雄先生。10時10分 夏休み渋滞の影響で1時間遅れで、飯能・木楽里に着く。トイレ休憩後、すぐに山へ。10時30分 井上さん

から山の説明を受ける。鎌の扱い方、安全上の注意を受け、ヘルメットと鎌が配られる。そして、急斜面によじ登り、下草刈り開始。全身汗だくになりながら、苗木を傷つけないよう気をつけながら鎌を振る。12時 ケガも無く、ハチやヘビに遭遇することもなく、作業終了。直射日光をさえる森林の中で昼食休憩。13時 井上さんの解説を聞きながら、林業従事者の作業道をゆっくり歩く。西川材の呼び名の由来、スギ、ヒノキ以外にサワラを植え



林業のロマンを語る井上さん

ていた時期のこと、動物と森の関係など興味深い話を聞く。井上さんは西川材産地の新たな挑戦を教えてくださいました。良質材の値打ちを直接、施主さんに伝えようと、伐採前の木に値札を付け、その価値を誰にも分かりやすく伝える取り組み。新しい住宅ビジネスを視野に、今年11月にシンポジウムを開催する。「大都市に近い産地だから生活者と直接結びつく活動ができる」と井上さん。

15時 森林見学後、「フォレスト萩原」で超高級材を見る（触れることは禁じられた）。大河原木材の大河原伸介会長と共に、近くの木の魅力を生かした住宅建築現場を見学。16時 東京への帰路についた。

カレッジ生インタビュー！「私も入りたい！」と友人。第20期生 新留 有華乃さん（19歳）



父に勧められて入学しました。最初は、職人の学校なので、上下関係が厳しく、ハードな学校かと緊張していました。でも、先生はみんな優しいし、雰囲気はおおらかだし、リラックスして勉強できるので、毎日が楽しいです。実技の授業が好き。なので、四方転び踏み台や規矩術の講習会にも参加しています。座学の中では金田正夫先生の「住宅概論」とか、面白いお話に引き込まれます。最近、友人が「カレッジに入りたい」と言い出しました。体格が良い彼女は私よりも建築職人向きかも。今度見学に連れて来ます。

東京建築カレッジ第21期生(2016年4月入学)第2回募集！

- ◆学校説明会 10月4日（日）午後2時・午後7時の2回
- ◆応募締切 10月13日（火）
- ◆試験日 10月18日（日）午前10時～午後3時

★詳しくは、ウェブサイトをご参照ください。検索キーワードは「東京建築カレッジ」見学歓迎！お問い合わせはお気軽に。電話03-5950-1771 西岡、吉川